

広報まき

1-10

睦月2004

vol.907

新しい年を
迎えて

巻原発「計画撤回」

今秋から、下水道の供用開始
運動しま専科

シリーズ「昭和を探して」
公民館わくわくチャレンジデー



住民と行政が一体となって 独自性に富む町づくりを進めることが 地方自治の確立につながる

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年1年間、町政にお寄せ頂きましたご支援、ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

この1年を振り返ってみますと、巻町においては、東北電力による「巻原発計画の撤回」表明が一番のニュースでした。三十数年にわたって町を混乱させてきた巻原発問題もようやく終息に向かい、これからの新しい町づくりに大いに期待を寄せるところです。

高齢化、高度情報化とともに住民ニーズの多様化等により、それらに即応した行政サービスの提供が求められております。そのご期待に沿うべく、事業の実施にあたっては「巻町行財政改革」の推進と「第4次巻町総合計画」に基づき、少子・高齢化に対応する福祉対策、学校施設整備並びに生活環境の充実等に重点を置き、町民の福祉向上に意を用いたところであります。

さて、私は本年1月20日をもって任期満了となり、2期8年間務めさせて頂いた町長の職を退くこととなりました。

一方、社会全般に目を移すと、経済の景気回復の兆候が見られず、社会環境は、なお厳しさを増しております。また、雇用情勢も失業率が高水準で推移するなど、引き続き深刻な状況にあります。

このような中で、国では「経済財政運営と構造改革」のもと、国庫補助負担金・地方交付税・税源移譲を含む税配分のあり方、いわゆる「三位一体の改革」が検討され、地方自治体が担う役割がますます増大するなど、行財政改革が強く進められた厳しい1年でありました。

巻町においても、地方分権、少子・高

この間「公正、公平な町民参加の町づくり」を政治心情に据え、町政懇談会・テーマ別懇談会等により町民の皆様、各種団体の皆様からのご意見・ご要望をお聞きし、厳しい財政事情ではありましたが、実現可能なものから、順次行政に反映するよう努めてきたところであります。

巻町は、私が申し上げるまでもなく、夕日が美しい日本海、誰もが気軽に登れる四季の角田山、豊かな恵みを生む蒲原平野など、海・山・平野がバランスよくまとまっており、また、縄文時代からの数々の歴史遺産と、その時代・時代には

ぐくまれてきた豊かな文化等にも恵まれております。

さらに、あらゆる産業が低迷を続ける中で、巻町では、角田山ろくを中心とする自然重視・文化型の新産業が芽生えつつあるような気がいたします。これらの利点・特色を十分に生かすならば、県内では他に類を見ない、すばらしい「町づくり」が可能であると考えております。

巻町の合併問題は、国や県主導による合併特例法の期限（平成17年3月まで）にこだわることなく、将来の町づくり議論のなかで、その方向性の一つとして市町村合併の必要性が出てきたならば、その段階で具体論を考え、町民全体で判断しても遅くはないと思っております。

特に原発問題が終息した現在、町民一人ひとりが、真剣に今後の町づくりを考えることができるようになったのではないのでしょうか。これまでいろいろな方向に分散していた思い、それに係わるエネルギーを結集し、巻町の魅力、特色を生かした町づくり、そして、住民主体の町づくりを皆で考え、議論していく必要があると思っております。

そして、巻町のキャッチフレーズである「豊かな自然 あふれる文化 活力ある産業で一人ひとりが輝く巻町」の実現を目指し、今後もさらに住民と行政が一体となって独自性に富む町づくりを進めることが、地方自治の確立につながるものと信じております。

どうか、今後も町民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、皆様にとって今年がよい年でありませう心からお祈りして、私の年頭のあいさつとさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、町民皆様にはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素、町政並びに議会運営に対しまして、暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、国内外において激動の1年であったかと思えます。特に、アメリカ、イギリスなどによるフセイン政権崩壊を目的としたイラク攻撃が年明け3月にあったことは大きな出来事でした。この関係で、自衛隊のイラク派遣が国会のみならず、世論を巻き込む大きな

ちをかけるかのように10年ぶりの冷夏の年となり、水稲をはじめ果樹等農作物全般にわたって被害をもたらした、農家経済はもとより地域経済に与える影響は大きく、誠に多難な1年でありました。

このような中、当町においても行財政改革をはじめ少子・高齢化、福祉、環境問題など克服すべき多くの課題を抱えており、行政需要はその量・質ともますます複雑多様化し、誠に厳しい状況であります。したがって、一層の地方分権を推進するため、国庫補助負担金の廃止・縮減、税源移譲を含む税配分の見直し、地方交付税の改革等による地方税源の充実

一人ひとりが輝く巻町を目指し 決意を新たに

問題になりました。そうした中で、昨年末、自衛隊のイラク派遣が閣議決定され、まず先遣隊が派遣されました。今後、本隊派遣ということになれば、これに対するテロの懸念、また国内へのテロが心配されることですが、何事も起こらないことを願うものであります。

また、国内においては、一向に景気回復傾向が見られず、株価の下落や米国経済の先行き不透明感など環境は厳しさを増しているほか、物価についてもデフレ傾向の改善が見られず、雇用情勢についても失業率が高水準で推移するなど厳しい状況が続いております。これに追い討

強化を機軸とした、いわゆる「三位一体の改革」の早期実現を政府・国会に強く要請してきたいと考えております。

また、私ども議決機関といたしましては、常任委員会傍聴体制の整備など開かれた議会としての改革も実現しながら、より豊かで住みよい町づくり、一人ひとりが輝く巻町を目指し、今後さらに研さんを重ね、町民皆様のご期待に応えるよう決意を新たにしております。

どうか本年も相変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして、新年のあいさつとさせていただきます。

新しい年を迎えて



■「巻原発計画」これまでの主な経過…… 1

- 昭和44年11月 東北電力(株)が新潟県及び町に対して、角海浜での原子力発電の適地選定調査への協力要請
- 昭和45年 1月 東北電力(株)が地質概要調査を実施(1~3月)
- 11月 東北電力(株)が海象概要調査を実施
- 昭和46年 5月 東北電力(株)が角海浜への原子力発電所立地計画を発表し、新潟県及び町に協力を要請(概要:用地約200万㎡、1号機75万キロワット、2・3号機未定、工事着工昭和53年、運転開始昭和57年)
- 昭和50年 6月 東北電力(株)が気象・地質など陸域全般にわたる諸調査を開始
- 昭和51年 9月 東北電力(株)が海象調査を開始
- 昭和52年12月 巻町議会が「原子力発電所建設同意に関する決議」を可決
- 昭和53年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工昭和56年11月、運転開始昭和61年3月)を掲上
- 昭和54年 6月 国が要対策重要電源に指定
- 昭和55年12月 高野町長が建設同意を表明(12月定例議会)
- 昭和56年 1月 東北電力(株)が巻、間瀬両漁協と漁業補償協定を締結
- 2月 東北電力(株)が環境影響調査書の公開縦覧と説明会を実施
- 8月 通商産業省が第1次公開ヒアリングを開催(1号機)
- 9月 東北電力(株)が五十嵐浜、寺泊両漁協と漁業補償協定を締結
- 11月 新潟県知事が電源開発基本計画組み入れに同意
- " 電源開発調整審議会です承される
- 12月 国の電源開発基本計画に組み入れられる
- 昭和57年 1月 東北電力(株)が原子炉設置許可を申請
- 4月 東北電力(株)が施設計画に1~4号機(1号機82.5万キロワット、着工昭和60年2月、運転開始昭和65年2月、2~4号機各110万キロワット)を掲上
- 昭和58年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機のみを掲上、2~4号機除外(1号機82.5万キロワット、着工昭和64年、運転開始昭和69年)
- 昭和59年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工昭和64年、運転開始昭和69年)を掲上
- 昭和60年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工昭和65年、運転開始昭和70年)を掲上
- 昭和61年 2月 原発用地内の墓地の所有権をめぐる町と寺の訴訟で、新潟地裁が町有地と判断
- 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工昭和66年、運転開始昭和71年)を掲上
- 昭和62年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工昭和67年、運転開始昭和72年)を掲上
- 昭和63年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工昭和67年、運転開始昭和72年)を掲上
- 平成元年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工平成5年、運転開始平成11年)を掲上
- 平成2年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工平成6年、運転開始平成12年)を掲上
- 8月 任期満了に伴う町長選挙で、佐藤町長が原子力発電所建設「凍結」を公約して再選、2期目
- 平成3年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工平成6年、運転開始平成12年)を掲上
- 平成4年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工平成7年、運転開始平成13年)を掲上
- 平成5年 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工平成8年、運転開始平成14年)を掲上
- 6月 巻町議会で「原子力発電所1号機早期着工促進に関する意見書」を賛成多数で採択
- 平成6年 2月 予定地内の2か所の無縁墳墓改葬終了
- 4月 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工平成9年、運転開始平成15年)を掲上
- 8月 任期満了に伴う町長選挙で、佐藤町長が原子力発電所建設「推進」を公約して再選、3期目
- 9月 巻町議会で「巻原子力発電所建設対策特別委員会」設置を賛成多数で採択
- 10月 「巻原発・住民投票を実行する会」が発足
- 11月 実行する会が佐藤町長に対し、原発建設の是非について町主催の住民投票の実施とそれができない場合に実行する会が実施する自主管理住民投票への協力を要請
- " 町長は住民投票は実施できない、実行する会が実施する自主管理住民投票への協力もできない旨を回答
- " 実行する会が自主管理住民投票の実施を決定、町教育委員会に体育館や公民館の使用を申し入れ
- 12月 町教育委員会は、申し入れのあった体育館や公民館の使用不許可を通知
- " 巻町議会で議員提案された「巻町における原子力発電所設置についての住民投票に関する条例」を反対15票、賛成5票で否決
- " 実行する会は、自主管理の住民投票に関する体育館の貸出拒否の問題について町教育委員会を相手取り、使用不許可処分取り消しを求める行政訴訟を新潟地裁に起こす
- 平成7年 1月 1月22日から15日間、住民の自主管理による住民投票を実施
- 実行する会によると 投票率45.24% 原発建設反対9,854、賛成474、無効50
- 2月 東北電力(株)が町有地の売却を申し入れる
- " 臨時議会開催(原発予定地内の町有地売却を提案)、原発反対派の阻止行動により議会流会
- 4月 組織機構の改正により電源立地対策課が発足
- " 東北電力(株)が施設計画に1号機(82.5万キロワット、着工平成10年、運転開始平成16年)を掲上
- " 巻町議会議員選挙(原発反対、住民投票条例制定派17人、原発推進派、慎重派16人が立候補)原発反対、住民投票条例制定派12人、原発推進、慎重派10人が当選
- 6月 6月定例議会開催(19日から26日まで)
- 19日、住民投票に関する条例案を原発反対、住民投票条例制定派議員が提出

巻原子力発電所計画

東北電力「計画を撤回」

～町有地売却訴訟、最高裁「上告不受理」を受け～

多くの報道陣を前に、笹口町長に「計画撤回」を伝える鹿目建設準備本部長



12月24日、東北電力(株)巻原子力建設準備本部長が役場を訪れ、笹口町長に「巻原子力発電所計画の撤回」を申し入れました。この結果、30数年にわたった巻原発建設計画は白紙に戻ることにになりました。

計画撤回の理由として東北電力は、「町有地売却に関する住民訴訟が最高裁において上告不受理となり、土地の取得が事実上困難になった」とし、「裁判結果や地元状況等を総合的に判断した結果、巻原発計画を撤回せざるを得ない」としています。

焦点となった裁判は、「巻原発計画用地内にあった町有地を違法に売却した」として、5人の町民が笹口町長と土地を購入した町民23人を相手取り、町有地にもどすよう求めた住民訴訟です。問題となった町有地は、巻原発計画の炉心中心部に近い、旧墓地743平方メートル。平成11年8月、笹口町長が住民投票の結果を尊重すべきだとする町民23人に、随意契約により1,500万円で売却したものです。原告側は「一般競争入札によらず、特定の町民を選んで土地を売ったのは違法であり、契約は無効」として、笹口町長と土地を購入した町民23人に対し所有権移転登記の抹消手続きを求めました。

こうした中、東北電力、国の動向が注目されています。だが、これまで巻原発計画を推進してきた平山県知事の「計画は撤回すべき」などの発言もあり、事業者である東北電力の今回の決断につながったものと思われまます。計画撤回を受け役場で会見した笹口町長は、「感無量。町民もたいへん喜んでいて。今後は、国の電源開発基本計画からの除外や跡地の問題などをしっかりと見極めていくことが町長としての責務だと思ふ」と話しました。現時点では、国の「電源開発基本計画」や「要対策重要電源の指定」に組み込まれている巻原発。今後はこれらからの除外を待って巻原発問題が「終結」します。

下水道料金1㎡あたり157円・受益者負担金15万円

今秋から、下水道の供用開始

■巻町は西川流域下水道

巻町の下水道は平成7年度から工事に着手し、市街地の一部区域（事業認可区域129・9㎡）において年次的に整備が進んでいます。

この下水道は、西川流域下水道（西川処理区）として整備され、町の処理場は持たずに、新潟市笠木地内の県の終末処理場で、西川流域と中之口川流域の市町村（1市4町5村）分の汚水を共同で処理する「流域下水道方式」です。

■供用開始は今秋から

県が整備している西川流域の幹線工事も順調に進み、今年巻町に到達する予定です。このため、市街地の一部区域では、今年10月から下水道の供用を開始する予定となりました。

下水道の供用が開始されると、現在くみ取り式トイレの場合、3年以内に水洗化して頂くこととなります。また、家庭の生活排水についても、町が設置する公共ますに接続して頂くこととなります。

■料金・負担金を決定

下水道を整備するためには、多くの費用を必要とします。巻町の下水道は、国・県の補助金をはじめ、町の借入金などをもとに整備が進められ、これまでに50億円以上が費やされています。

こうした費用は、下水道を使用する受益者の皆さんなどから負担して頂くことになっていきますが、昨年12月の巻町議会です「下水道事業の必要事項を定めた『下水道条例』」巻都市計画下水道事業受益者負担に関する条例」が制定されました。この中には、「下水道料金」、都市計画法の規定に基づく「受益者負担金」などが定められています。

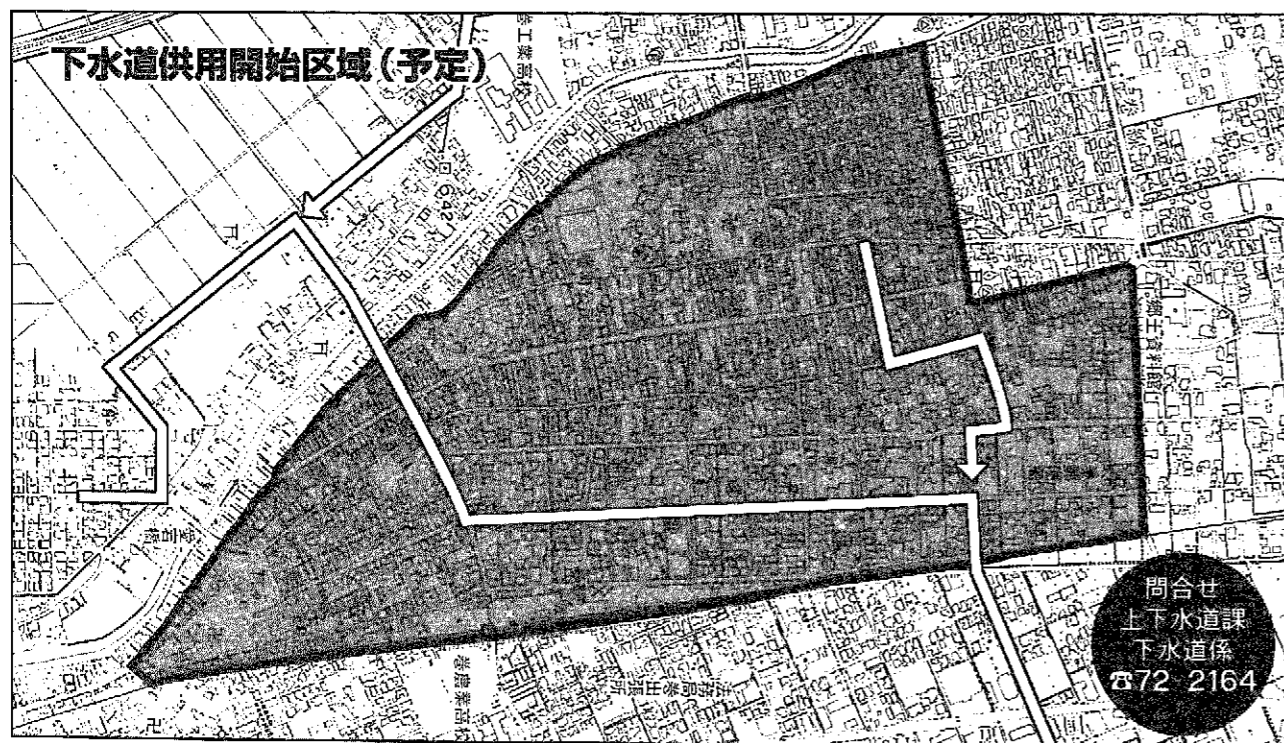
下水道料金は1㎡あたり157円（毎月の水道使用量を基に算定）、下水道建設費の一部を負担して頂く受益者負担金は1軒あたり15万円（住宅及び店舗併用住宅の場合、共同住宅その他については、水道メーターの口径により定められています）となっています。

■説明会を開催します

供用開始予定の区域を対象に1月29日（木）から「下水道説明会」を開催します。下水道の供用が始まる対象地区の皆さんは、ぜひご出席ください。

説明会開催日程

開催日	時間	会場	供用開始対象地区
1月29日（木）	午後1:30 午後7:00 の2回開催	あたごの家	1区・2区
1月30日（金）		巻町公民館 (2階研修室)	4区・5区・6区
2月2日（月）		巻町公民館 (3階小ホール)	7区・8区・9区
2月3日（火）		役場 (3階大会議室)	10区・11区・12区（一部） ・13区（一部）



- 「巻町条例」に由来する主な経過
- 平成7年6月 26日、住民投票に関する条例案が巻町議会に提出
 - 7月 19日、「巻町における下水道事業の推進」に関する条例案が巻町議会に提出
 - 8月 条例改正に関する調査結果について2,038人（調査票の総数）の賛成が得られた
 - 9月 署名簿の閲覧（25日から10日まで）
 - 9月 直接請求に係る住民投票条例の一部を改正する条例案を9月定例議会で提出
 - 10月 4日、直接請求に係る住民投票条例の一部を改正する条例案を（賛成11、反対1、無効1）で巻町議会に提出
 - 11月 巻町議会、住民投票案を執行する会の笹口孝明代表らは、「町長には住民投票案の執行に関する権限を認めない」として、町長に住民投票案の執行を認めないことを決定
 - 12月 巻町議会、住民投票案を執行する会が佐藤町長のリコール署名簿（10,231人分）を巻町議会に提出し、佐藤町長が12月定例議会の最終日に辞職願いを提出し、賛成多数で可決
 - 平成8年1月 巻町議会、住民投票案を執行する会の笹口代表が次期町長選挙に出馬を表明
 - 3月 町長選挙の結果、住民投票案を執行する会の笹口孝明代表が当選
 - 4月 3月定例議会において、巻町が発電所建設に関する住民投票案を平成8年7月1日に提出することを決定
 - 4月 東北電力（株）が施設計画に1号機（825万キロワット、着工平成13年、運転開始平成24年）を策定
 - 5月 巻町主催でシンポジウムを開催、733人が参加
 - 7月 巻町は、住民投票に関する事務を選挙管理委員会に委任
 - 7月 25日、住民投票の実施に関する告示
 - 8月 4日、住民投票を実施。投票率88.28%、原発建設反対12,476、賛成4,400
 - 9月 住民投票の結果を受け、東北電力（株）に対し、巻町が発電所の建設予定地内にある町有地を売却することを求め、巻町が発電所建設の白紙撤回を申し入れ
 - 9月 住民投票の結果を受け、通商産業省資源エネルギー庁に対し、巻町が発電所の建設予定地内にある町有地を売却することを求め、巻町が発電所建設の白紙撤回を申し入れ
 - 9月 巻町は、9月定例議会初日の一般質問に答えて、巻町が発電所の建設予定地内にある町有地を売却することを求め、巻町が発電所建設の白紙撤回を申し入れ
 - 9月 住民投票の結果を受け、平山県知事に対し、巻町が発電所の建設予定地内にある町有地を売却することを求め、巻町が発電所建設の白紙撤回を申し入れ
 - 平成9年3月 組織機構の改正により電源地対策課を廃止
 - 4月 東北電力（株）が施設計画に1号機（825万キロワット、着工平成13年、運転開始平成24年）を策定（3年延期）
 - 9月 条約に違反して住民投票案に反対したとされる新潟県知事のリコールが可決
 - 平成10年3月 東北電力（株）が施設計画に1号機（825万キロワット、着工平成13年、運転開始平成24年）を策定
 - 平成11年8月 笹口町長が原発の建設予定地内にある町有地（443㎡）を無償で巻町に売却
 - 9月 東北電力（株）が笹口町長に対し、町有地の買戻しを求め、買戻しを拒否
 - 平成12年1月 任期満了に伴う町長選挙で、笹口町長が再選、2期目
 - 2月 「町有地の不当売却を追求する町議会」が、笹口町長が原発の予定地内にある町有地を売却したことに對して買戻しを求め、買戻しを拒否する旨の請願を提出
 - 3月 笹口町長が巻町が発電所の白紙撤回を申し入れるため、巻町内の東北電力（株）本店を訪ね
 - 3月 東北電力（株）が施設計画に1号機（825万キロワット、着工平成13年、運転開始平成24年）を策定
 - 4月 住民投票案について、町議会委員は請求には理由がないとして請求を棄却
 - 5月 町民5人が笹口町長と最も受け取った新選23人を相手に、売却拒否と手紙が違法だったとして土地を町有地に買戻すよう求める住民訴訟を提起
 - 7月 新潟地方裁判所において、平成12年（行ウ）第6号 巻町 巻町の違法確認並びに所有権移転登記抹消登記手続等請求事件第1回口頭弁論
 - 9月 同上事件 第2回口頭弁論
 - 11月 同上事件 口頭弁論終結
 - 平成13年3月 新潟地方裁判所において、同上事件判決を言い渡す。「町有地の売却は住民投票の結果を尊重したものであり、違法とはいえない」との判断が下され、原告の請求を棄却
 - 10月 上記判決に対し、原告側控訴（4月6日控訴理由書提出）
 - 10月 東京高等裁判所において、平成13年（行ウ）第100号 巻町 巻町の違法確認並びに所有権移転登記抹消登記手続等請求事件第1回口頭弁論
 - 12月 東京高等裁判所において、上記控訴請求事件第2回口頭弁論（口頭弁論終結）
 - 平成14年3月 東京高等裁判所において、上記控訴請求事件判決、原告の請求を棄却
 - 4月 上記判決を不服として、原告が上告受理申立
 - 平成15年12月 18日、最高裁判所において、原告の上告受理申立について不受理決定。二審判決が確定する24日、東北電力（株）が巻町が発電所の撤回を表明

問合せ
上下水道課
下水道係
☎72 2164

第4回
~苗が嫁に行く~
舟戸

「昭和を探して」

●シリーズ

変わらぬもの
残したい技
伝えたいコト

この冬はタイコンが世作の
ようだ。我が家の物置にも
あと一本ほど、タイコンが
埋められるのをかかを待つ
ている。

今回のテーマは「伝統料理」
待ち合わせは舟戸の公衆堂。
「さめんくたさうい」です。
おはあちんちんが待つてい
た。喉房もちんを効いてい
た。

そして早くも、出てくる出
てくる。料理の奴。まずは
地域に伝わる伝統料理の代表
格である煮栗（休来の塩漬け
を酒粕で煮たもの）。そして
こうこうたかあん、ハリ
リ掛け、切り下し大根とす
め、数の「しん」んの漬物
からし巻、下しな入、さら
しを煮いたもの。

さらに今回「いまれで初め
て食べた」たりあき、さ
あえ、は、昔、法事になると
必ず作られた料理、タイコン
の味噌汁を細かく刻んで、
乾燥したレノの葉、こま、し
ようが、そして砂糖と、縮
和えた料理、これがある。と
何作でも食べられる。
あ、あ、美味そ、た、なん
と、タイコンがよく、私、朝食
を食べて、いなか、た
ま、ま、持、て、こ、か、か、
「は、し、時、こ、こ、こ、こ、
「は、お、時、の、朝、こ、こ、こ、
の、前、に、な、る、こ、こ、こ、

運動しま専科 Vol.6 TRAINING

巻町体育指導委員が贈る運動に関するアドバイス



●アドバイザー
巻町体育指導委員 高杉亜紀子

新年明けましておめで
とございませう。新年の
1月担当の高杉です。
今年も引き続き「運動し
ま専科」をよろしくお願
いします。

さて、楽しい正月休み
も終わり現実の生活に引
き戻されてしまいました
が、皆さん、いかがお過
ごしでしょうか？

休みの間は、正月料理
をたっぷり堪能したこと
と思います。そういう私
も、堪能しすぎて体脂肪
率が10%は上昇したよう
な気分です。今年の冬こ
そはと、「体質改善！すて
きな体づくり」を懲りず
に新年の目標に掲げてが
んばっています。が、し
かし、トレーニングをす
るためのまとまった時間
がとれないのと、意志が
続かないのが現状です。

そこで今回は、トレー
ニング編パート2として、
日常生活の細かな場面で
気軽に取り入れられる
『ながら運動』を紹介し
たいと思います。この体
操は、日常生活に取り入
れながら行うものなので、
一日の生活の流れに沿っ
て説明します。

①朝、起床とともにふとんの中でスト
レッチをします。(運動しま専科vol.4
を参考にしてください)。

②歯磨きの時、スクワット、
爪先立ち10回。
お尻や太もも、腰を意識し
ます。
*膝にクッションなどを挟
むと内ももが鍛えられます。

③洗面台に向かった時
立ち腕立てふせ10回。

④食事の前に“いただ
きます”と合掌して手
を押し合う。胸や二の
腕を意識します。

⑤椅子に座った時、
足首を交差して互い
に押し合い10回づつ。
太ももの前後を意識
します。

⑥水分補給のため
にペットボトル又
は水筒を持った
時、二の腕の運
動10回づつ。

⑦テレビを見ていて、CMになった時、腰筋10
回。おへそを見るだけでも効果はあります。

⑧次のCMで背筋10回。右手と左足、
左手と右足と交互に上にあげます。

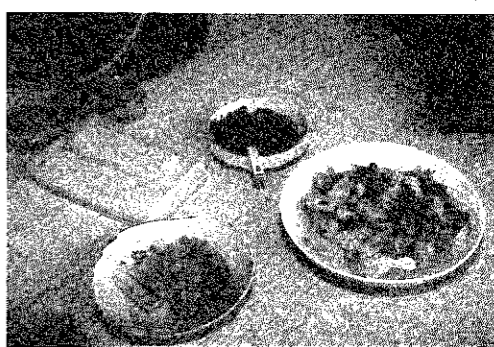
⑨お風呂入り
もしくは寝る前
に、ストレッチを
して終了です。

という流れで、一日をとおしてまめに体を動かしてみましょう。毎日実践していくうちに、「歯ブラシを持っ
たらスクワットせすにはいられない」という感じになったらしめたものです。その調子で毎日の習慣にしてく
ださい。このように、まとまった時間や強い意志がなくても、少しの努力でトレーニングができます。皆さん
も実践してみてください。そして、正月に蓄積してしまった体脂肪を燃焼させましょう。

「苗が嫁に行く」よくそう言ったそうだ。精魂込めて育てた苗が田んぼに嫁に行く。昔の苗作りはきつと大変だったんだ。それこそ娘を育てるかのごとく。その娘が嫁に行くんだ。お祭りでもしたくないませんか。田植えが終わったあとの宴会「さなぶり」はさしずめ、結婚式の後の披露宴のようなものだろう。

秋の稲刈りもまた、大変だった。湿田に再びつかりながら、手で稲を刈る。刈った稲を束ねて、あぜに置いていく。その稲を担いで、丘の上のハザ木まで持っていく。雨がふると、束ねた稲が水を吸って、かなり重くなり女の人だと30束持つのがやっとだったという。竹の笠をかぶって、なんとか運んだのだという。

そんな苦労の末にやっととれたお米。一粒たりとも無駄にはできない。いや、米だけじゃない。その稲ワラだって、たくさん用途に使ったのだから。そのひとつが今回見せてもらった、畑用のあしな草履だ。「あしな草」というだけあり、足の前半分しか、ワラの部分はない。ちよつと履いてみた。「痛」。親指と人差し指に挟まる鼻緒が痛い。歩いてみる。お、なかなか足にフィットして気持ちいいぞ。でもこれで、3月の田ん



ぼはきついなあ。寒いだろうなあ。

今でもおばあちゃんらは、草履を編めるという。つないでおきたい技術がここにもあった。冬の間は、草履やらなんやらを作るとき。休みなんて盆と正月くらいしかなかったという。遊びといえば、お手玉やおはじきくらいのもの。「楽しみはなんでしたか？」と尋ねると、盆踊りだったと返ってきた。

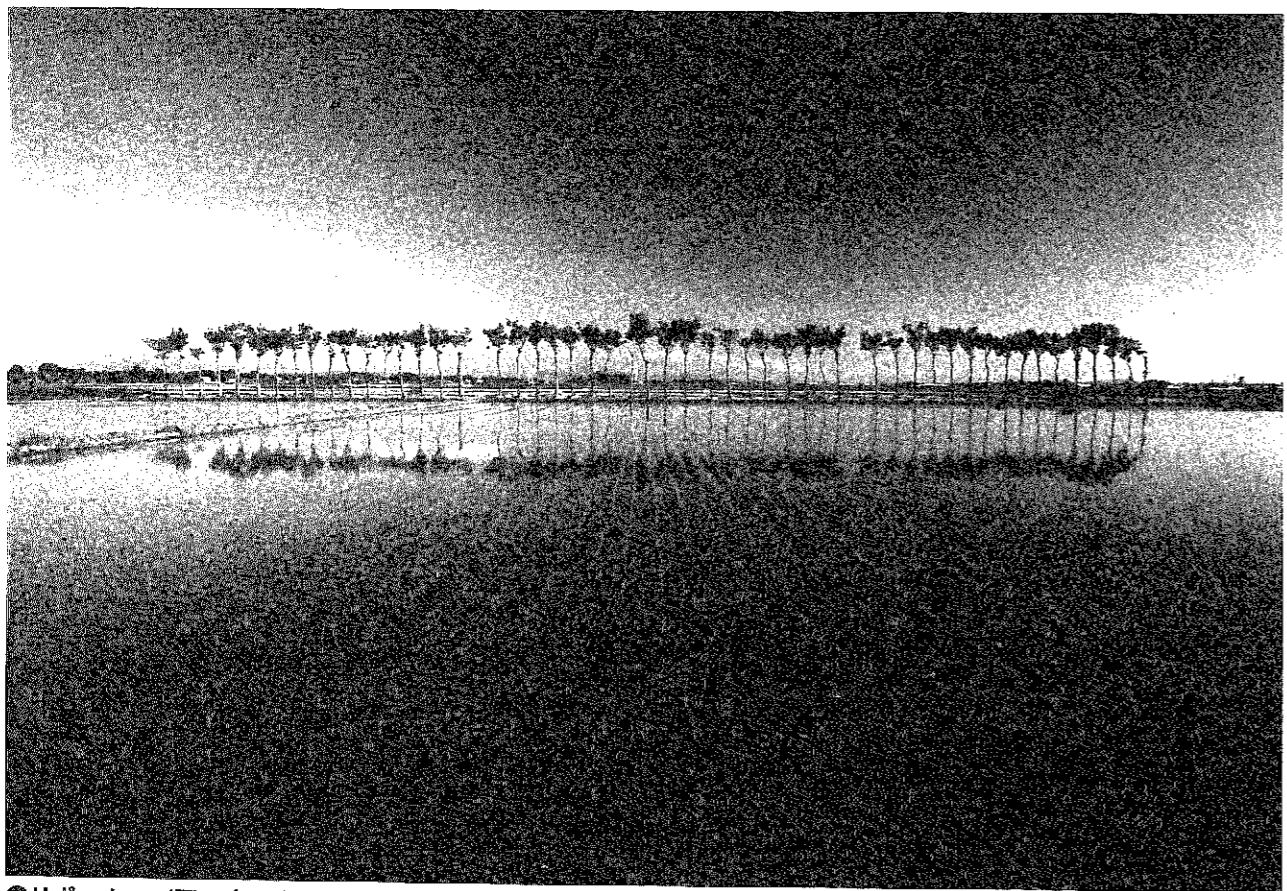
一年一年を、一日一日を季節と共に生きたあの時代を体験していないけど、懐かしく思った。

ありがとう。そしてごちそうさま。



おばあちゃんたちは、今でも上手に草履を作ることができる。伝統には、知恵と技術がぎっしり詰まっている。

苗が嫁に行く。



●リポーター／西田卓司(NPO法人虹のおと代表理事)

まんま 持ってこかね。

「番」の家からは、「トントントン」という音が、一日中響いていたことだろう。

外は本当にいい天気だった。冬にこんな晴れる日はなかなかない。ということでおばあちゃん3人とお散歩デパートに出かけることにした。家の軒先には、切り干し用(細長く)とからし巻用(輪切り)の2種類のダイコンがたくさん干してあった。ある家は洗濯バサミで挟んで、またある家は、一本一本、針で糸を通して、それぞれの家がダイコンを干していた。

畑には、季節がある。ダイコンは冬の寒い時期に採って、あとはもう、春ダイコンが採れるまでは、これを食べる。だから、保存方法のひとつとして、乾かしてハリハリ漬けやからし巻にしていたんだろ。うな。冬でも野菜を食べる智慧だなあ。

またひとつ、面白いものを発見。わらを積んであるテントみたいなの。なんでも、サトイモを保存しておくためのものだという。中は温かく、それでいて、通気が良いように稲ワラで作った倉庫。すごいな、これも。よく思いついたもんだ。

日の当る場所はぼかぼかだったが、日陰はやっぱり寒か

った。歩きながら話を聞いていると、生活の基本に米作りがあったことがものすごく伝わってきた。

3月、まだ霜が降りるほど寒い日中、田打ちが始まる。舟戸のあたりは湿田だったのひざの上まで水につかる。当時は長靴なんでものはなかったから、裸足で田んぼに入り、牛を操りながら、田んぼを打ったのだという。田んぼから上がると足が真っ赤になったそうだ。ううう、寒そう……。

苗床で苗を作り、そして田植えだ。田植えは大仕事だった。一家総出どころではない。近所中の人が集まって、食事当番もよそから呼んで、行われる大掛かりなものだった。朝の暗いうちから、苗取りをして、植えはじめる。一仕事終わったら朝食だ。朝食は、あんころもちだったという。なんだか意外だ。朝から働いて、いきなり甘いものを食べるのか。

こはんを食べる人もいたらしいが、そんなときにも、からし巻がよく出されたという。田植えは何日も続く。夜になると、餅つきをして、あんこを煮て、明日に備えた。まるでお祭りだ。そう。田植えは本場にキツイ肉體労働だったが、田植えは祭りでもあった。

わくわくチャレンジデー

1月24日(土)は 公民館に集合!

巻町教育委員会社会教育課では、昨年度から実施された「完全学校週5日制」に伴い、巻町公民館と峰岡、漆山地区公民館を小・中学生の皆さんに開放し、様々な社会教育体験を提供しています。今回も気軽に楽しめるメニューがたくさん揃っていますので、ぜひ遊びに来てください。

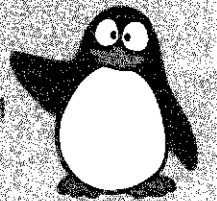
吹きたま、紙ひこうき、紙とんぼをつくろう!

巻町公民館 ☎72-3329

1月24日(土) 午前9時~11時30分

*参加費無料

みんな、遊びに来てね!



3F

●クラフトルーム(小ホール)

吹きたま、トンボ型紙ひこうき、紙とんぼをつくろう! (巻南小学校先生によるボランティア)

2F

●プレイルーム(研修室)

お手玉、落書きスペース
小物入れをつくろう (町民ボランティア)

●スタディールーム(実習室)

学習なんでも相談 (子供と遊ぼう会ボランティア)

●レストルーム(和室) 午前9時30分~10時

お話の会 (おはなし畑ボランティア)



漆山地区公民館

1月24日(土)
午前9時~11時30分
*参加費無料

落書き、絵手紙、卓球

●問合せ 漆山地区公民館
☎73-2660

峰岡地区公民館

1月24日(土)
午前9時~11時30分
*参加費無料

落書き、絵手紙、卓球

●問合せ 峰岡地区公民館
☎73-4055

お知らせ

TOWN INFO, MAKI

募集

臨時職員を募集します

募集内容・応募資格

- 看護職 1人
看護師又は准看護師の免許を有し、夜間勤務可能な方
- 理学療法士又は作業療法士 1人
理学療法士又は作業療法士の免許を有し、8時間勤務可能な方
- 勤務先 介護老人保健施設「橋の里」
- 申込方法 履歴書・資格免許証の写しを2月末までに町立巻病院庶務課へ提出してください。
- 申込み・問合せ 町立巻病院庶務課庶務係
☎72-3111 (内線2006)

じよんのび館(従業員募集)

- じよんのび館では、主としてフロント業務を担当するパート従業員を、次のとおり募集します。
- 募集人数 2人
- 雇用形態・雇用期間

- 巻町役場 ☎72-3131
- 町立巻病院 ☎72-3111
- 巻消防署 ☎72-3309
- 上下水道課(浄水場) ☎72-2164
- 巻町文化会館 ☎73-2219
- 巻町公民館 ☎72-3329
- 巻町教育委員会 ☎73-2000

今月の納税

町・県民税…第4期
国民健康保険税…第9期
納期限…2月2日(月)
※期限内の納入をお願いします。

納税は便利な口座振替で!

※口座振替の用紙は巻町税務課、金融機関に用意してあります。手続きには通帳と印鑑(通帳に使用のもの)が必要です。
※保険税の口座振替で世帯主変更があった場合は、口座振替依頼書で変更手続きをお願いします。

パート従業員・臨時
週労働日数 3日程度
就業時間
①午前8時~午後3時45分(休憩時間45分)
②午後3時30分~10時(休憩時間30分)
賃金 750円(時間給)
応募条件等 普通自動車免許一種加入保険 雇用・労災
通勤手当 毎月3,500円まで(マイカー通勤可)
申込み・問合せ (株)福井開発
☎72-4126

専任講師 脇田喜之さん
参加費 無料
対象 18歳以上の町民及び町内に勤務されている方
定員 若干の余裕があります。
早めに申込みください。
申込み方法 電話か窓口で受け付けます。(土日、祝日を除く、午前8時30分~午後5時15分)
申込み・問合せ
☎72-3329
町立巻病院

健康づくりのための
料理教室参加者募集

対象 巻町国民健康保険に加入している、日ごろから家庭で食事づくりをしている方
とき 2月13日(金)
午前9時30分~午後1時30分
ところ 巻町保健センター
講師 つたや製菓 和須津悟さん
テーマ 「カロリー控えめのお菓子作り」
持ち物 三角巾・エプロン
参加費 3000円
募集人数 30人(定員になり次第締切)
申込期間 1月14日(水)~30日(金)
申込み・問合せ 巻町保健センター
☎72-7100

新潟工業短期大学 & 巻町公民館連携公開講座
「表計算ソフト入門講座 (Excel)」受講者追加募集

初心者の方を対象として、便利な表計算ソフトの操作方法を初歩的かつ実用的な内容で学びます。家計簿も簡単に作れるようになります。

とき 1月24日(土)
午前10時~11時30分
ところ 巻町公民館3階視聴覚室
講師 新潟工業短期大学 生産システム工学科

ご協力お願いします
1月19日(月) 献血(全血)

【午前】10時~正午 プルボン
【午後】1時30分~3時30分 町立巻病院

24時間受付・相談無料
電話健康相談室
(0120)834-011
医師・看護師等がお答えします。

相談の前に市町村コード番号を伝えてください。個人名を言う必要はありません。

市町村コード番号
巻町 15345

休日救急当番医
1月16日~31日

外科 18日 県立吉田病院(吉田町:☎92-5111)
25日 飯塚外科内科医院(巻町:☎72-1151)

内科・小児科・歯科 西蒲原地区休日夜間急患センター(東6区:☎72-5499)

赤ちゃんの健康のために

会場/保健センター ☎72-7100

1歳6か月児健診

対象 平成14年6月生まれの幼児
 とき 1月20日(火) 午後1時20分集合
 内容 内科健診、歯科健診、身体計測、保健師の問診、栄養指導
 持ち物 母子手帳、お子さんが家でよく読んでいる絵本

ツベルクリン反応検査

結核感染の有無を知るための反応検査で、予防接種ではありません。
 対象 生後3か月以上4歳未満の乳幼児
 とき 1月21日(水) 午後1時30分～2時15分
 持ち物 ツベルクリン反応検査予診票、母子手帳

BCG接種

ツベルクリン反応の結果、陰性のお子さんが結核予防のために受ける注射です。
 対象 1月21日(水)にツベルクリン反応検査を受けた乳幼児
 とき 1月23日(金) 午後1時30分～2時15分
 持ち物 ツベルクリン反応検査時に渡される予診票、母子手帳

離乳食相談会

お子さんの離乳食について心配されているお母さん。栄養士、保健師が相談に応じます。
 対象 平成15年7月生まれの乳児
 とき 1月26日(月) 午後1時20分集合
 内容 離乳食のすすめ方、身体計測
 持ち物 母子手帳、バスタオル

2歳児歯科健診

対象 平成13年12月生まれの幼児
 とき 1月29日(木) 午後1時20分集合
 内容 歯科健診、歯磨き指導、身体計測、保健師の問診、栄養指導
 持ち物 母子手帳、歯のアンケート

〈歯科健診受診時のお願い〉
 昼食後は歯を磨き、以後何も食べさせないでください。

もうすぐお誕生ひろば

対象 平成15年2月生まれの乳児
 とき 1月30日(金) 午前9時30分集合
 内容 身体計測(希望者)、保健師の相談、親子遊び、離乳食の指導
 持ち物 母子手帳

3・4か月児健診

対象 平成15年9月生まれの乳児
 とき 1月30日(金) 午後1時20分集合
 内容 内科健診、股関節の脱きゅう健診、身体計測、保健師の問診、離乳食の指導
 持ち物 母子手帳、バスタオル



町民生活カレンダー

16日～31日 (□=時間 △=会場)

16金	
17土	★役場閉庁
18日	○郷土資料館休館日 ▶休日救急当番医 (13ページ参照)
19月	○郷土資料館休館日 ○得雲荘休館日 ■全血献血 (13ページ参照)
20火	◆1歳6か月児健診 □午後1時20分集合 △保健センター
21水	●介護保険相談 □午前10時～午後5時 △ふれあい福祉センター ◆ツベルクリン反応検査 □午後1時30～2時15分 △保健センター ■じよんのび館休館日
22木	●心配ごと相談 □午前10時～午後1時 △役場1階相談室 ★町立巻病院外来診療休診日
23金	◆BCG接種 □午後1時30分～2時15分 △保健センター
24土	★役場閉庁 ★町立巻病院外来診療休診日
25日	○郷土資料館休館日 ▶休日救急当番医 (13ページ参照)
26月	○郷土資料館休館日 ○得雲荘休館日 ◆ママなんでも相談 □午前9時30分～午後4時 △保健センター ◆離乳食相談会 □午後1時20分集合 △保健センター
27火	
28水	●介護保険相談 □午前10時～午後5時 △ふれあい福祉センター ◆心の健康相談会 □午後1時30分～3時 △保健センター 住民課窓口 時間延長 (午後7時まで)
29木	●心配ごと相談 □午前10時～午後1時 △役場1階相談室 ◆2歳児歯科健診 □午後1時20分集合 △保健センター ★町立巻病院外来診療休診日
30金	◆もうすぐお誕生ひろば □午前9時30分集合 △保健センター ◆3・4か月児健診 □午後1時20分集合 △保健センター
31土	★役場閉庁

お知らせ

スキー&スノーボード教室
参加者募集
 とき 2月15日(日)
 午前6時30分
 (会場正面玄関前集合)
 ところ 石打丸山スキー場
 対象 町民及び町内勤務者(小学4年生以下は、必ず保護者同伴)
 募集人数 80人(定員になり次第締切)
 参加費(リフト券・バスタ代・レッスン料・保険料含む)
 ・大人(中学生以上)4,000円
 ・子ども(小学生以下)2,000円
 持ち物 スキー・スノーボード用具、保険証、昼食、その他各自必要なもの
 その他 スキー・スノーボード用具は、現地でも借りることができ(有料)。
 申込期間 1月14日(水)～30日(金)
 (平日の午前8時30分～午後5時)
 申込方法 生涯スポーツ課にある申込書に必要事項を記入の上、参加費を添えて申込みください。
 申込み・問合せ 生涯スポーツ課 ☎723131(内線251)



お気軽にどうぞ 精神保健相談会
 イライラしがちで気がない、不登校で困っているなど精神面の相談に応じます。相談は無料で内容などの秘密は守られます。
 とき 1月15日(木)
 午後1時30分～3時30分
 ところ 巻町保健センター
 相談医 富樫医院 富樫俊二医師
 問合せ 巻町保健センター ☎727100

「燕・西蒲就職フェア2004」開催
 ハローワーク巻では、求人活動中の方々が一人でも多く就職に結びつく機会として、合同選考会を開催します。このチャンスを見逃さず、ぜひ参加ください。
 とき 1月26日(日)
 午後1時30分～午後4時
 (受付 午後1時から)
 ところ 吉田町産業会館大ホール
 申込み・問合せ ハローワーク巻 紹介担当 ☎723155

「ほくろの夢・わたしの夢」絵画展
 日本人の支援により教育を受けている海外の子どものたちの絵画展を開催します。
 期間 1月15日(木)～30日(金)
 午前9時～午後7時
 (ただし、土日、祝日は休み)
 ところ 巻郵便局ロビー
 主催 世界里親の会会員
 問合せ 佐藤さん ☎723441

基本健診・各種がん検診の申込み郵送希望者はご連絡を
 町が行う平成16年度基本健康診査、各種がん検診の申込みについて、1月中に区長・班長を通じて申込書を配布する予定です。郵送を希望される世帯は、1月16日(金)までご連絡ください。
 連絡・問合せ 巻町保健センター ☎727100

不審者から子どもを守りましょう

最近、児童生徒を狙った不審者による事件が多発しています。子どもたちが被害に遭うことなく、安全に過ごせるよう、子どもたちの登下校の様子や遊びなどを見守って頂くようお願いいたします。また、不審者を見かけた場合は、警察へ通報願います。
 問合せ 巻町教育委員会 学校教育課 ☎73-2000

子育て支援センター

ころころ広場カレンダー(1月16日～31日)
 □どんぐりの舎 ☎72-6240

1月19日(月) 身長・体重計測 □随時
 21日(水) 親子遊びの会(体操遊び)
 □午前10時30分～11時30分
 27日(火) すわ保育園児とのふれあい交流会・お抹茶を楽しむ会
 □午前10時～11時30分
 28日(水) 親子お誕生日会 □午前10時～11時

ころころミュージック団

初回公演 ミュージカル「宝島の冒険」
 2003年7月、音楽好きの仲間たち(幼児から小学生、大人)が集まって結成した「ころころミュージック団」です。よく知っているあの歌、この歌でお話を作りました。
 とき 2月1日(日)
 開場 午前10時
 開演 午前10時30分
 ところ 巻町公民館3階小ホール
 対象 どなたでも
 入場料 無料
 ※入場整理券がありますので申込みください。当日、直接おいで頂いても結構です。
 申込み・問合せ 子育て支援センター(どんぐりの舎) ☎/FAX 72-6240



まちの はゆーいえいす

風間 瑠偉くん [堀山団地：1歳6か月]



●パパ：勝之さん ●ママ：みゆきさん

●名前の由来：パパが大好きなサッカー選手の名前をとって。

●名付け親：パパ

●最近の：バナナ、牛乳。音の出るおもちゃ。外で遊ぶお気に入り ぶこと。

●両親からの：自由に伸び伸びと育ててね。メッセージ

とにかく元気いっぱい(〇〇)/『るばん』くん。サッカー好きなパパやお兄ちゃんの影響からか、ボールを蹴るまねもとっても上手。名前を呼ばれば、元気に挙手しながらきちんとお返事。これからもお兄ちゃんたちと仲良くな。

今月の言葉

「他人の悲しみに同情する心」 孟子

人間はだれでも、他人の悲しみを見すごすことのできない同情心をもっている。昔のりっぱな王様は、こうした心をもつばかりでなく、他人の悲しみに同情する政治をもたれた。他人の悲しみに同情する心で、他人の悲しみに同情する政治を実行することができたならば、天下を治めるのは、まるで手のひらの上どころがすように、自在にできるだろう。

人間はだれでも、他人の悲しみに同情する心をもっているというわけは、今かりに、子どもが井戸に落ちかけているのを見かけたら、人はだれでも驚きあわて、いたたまれない感情になる。子どもの父母に悪意になろうという底意があるわけではない。地域や仲間内で、人命救助の名誉と評判を得たいからではない。これを見すごしたら、無情な人間だと悪名をたてられはしないかと思うからでもない。

このことから考えてみると、いたたまれない感情をもたぬ者は、人間ではない。羞恥の感情をもたぬ者も、人間ではない。謙遜の感情をもたぬ者も、人間ではない。善いことを善いとし、悪いことを悪いとする是非の感情をもたぬ者も、人間ではない。このいたたまれない感情は、仁の端緒である。羞恥の感情は、義の端緒である。謙遜の感情は、礼の端緒である。是非の感情は、智の端緒である。人がこういう四つの端緒をそなえていることは、人間が四肢をそなえているようなものである。この四つの端緒をもちながら、自分で仁義礼智を実行できぬというのは、自殺者である。(第三巻・公孫丑章句)

巻町民卓球大会結果 12月21日 町営体育館

●男子団体

①巻クラブA②竹野ハイックラブ③巻クラブB④巻クラブC

●女子団体

①坂井東②巻クラブ③吉田白球会

●男子個人

①富所雄輔(竹野ハイックラブ) ②田中俊行(巻クラブ) ③浜倉礼二(巻クラブ) ④平山正典(巻クラブ)

●女子個人

①金子陽子(吉田白球会) ②阿部夏海(巻西中) ③松宮千佳(巻東中) ④田辺美伶(巻東中)

お誕生

おめでとう

(12月16日～31日届出分)

名 前	誕生日	養 護 者	行政区
阿部 みなみ	12.6	辰也・陽子	堀山団地
川村 温輝	12.7	健一・美織	鷺ノ木
関矢 知聖	12.11	有史・恵子	8 区
長嶋 一征	12.12	亮・美幸	赤 鏑
若月 紀都	12.17	一宏・礼子	稲 島
岡村 悠人	12.20	敏・知子	3 区
樋口 彩花	12.22	宗男・実花	堀山団地

ぞめい福を

お祈りします

(12月16日～31日届出分)

名 前	ご出生日	年 齢	行政区
山賀 昭男	12.16	72	桔梗ヶ丘
山田 徳市	12.18	88	葉 萱
渡邊 英六	12.19	84	10 区
石田 祝子	12.20	86	9 区
阿部 眞治	12.21	85	1 区
小川 勝勝	12.22	80	3 区
小橋 本岳	12.22	87	5 区
堀内 ミイ	12.24	87	竹 野 町
小林 太津夫	12.24	76	12 区
原 藤一郎	12.25	75	漆山2の丁
伝 川又	12.25	82	13 区
田邊 八重	12.29	76	東 6 区
石添 徳治	12.30	77	1 区
飯島 謙次	12.31	82	13 区

*「個人情報保護条例」を施行したことに伴い、「お誕生おめでとう」、「ぞめい福をお祈りします」欄は、掲載の同意があった方を記載しています。

編集後記

新たな巻町の創造元年に

東北電力による巻原発計画が撤回された。三十数年にわたって巻町を混乱させてきた原発問題は、ついに終息となる。

「町の将来は町民自らが決める」と、平成8年の夏に実施された全国初の住民投票。投票率は88.28%に達し、原発建設反対票が60%を超え、町民は原発のない、原発に頼らない町づくりを選択した。国策といわれた巻原発計画は、町民自らの力によって、最後は白紙撤回へと追い込まれた。

巻町における原発問題は、賛成・反対の立場からこれまで様々な軋轢を生んできた。しかし、どちらの立場にあっても、その根源にあったものは「巻町を愛する」気持ちだったのではないか。方法論の違いこそあれ、自分の住む巻町を、将来の巻町を愛すればこそ、原発を核とした町づくり、原発のない町づくり、それぞれの選択があったのだと思う。

主権在民といわれる民主主義。多数意見を尊重するといわれる民主主義。しかし、それには「権利」と共に「義務」と「責任」が同居する。原発計画が撤回された今、巻町は対立を超え、新たな一歩を踏み出さなければならない。分散していた町民の思い、力をひとつにし、これからの町づくりを行う「義務」と「責任」が私たちにはある。新しい町長をリーダーとして、今年、新たな巻町の創造元年としたい。(土田)

